

2022年8月8日

各位

会社名 NISSHA 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
 (コード番号 7915 東証プライム市場)
 問合せ先 上席執行役員 兼 最高財務責任者 神谷 均
 (TEL. 075-811-8111)

第2四半期連結累計期間業績予想との差異および 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表いたしました2022年12月期第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の業績予想と実績との差異および2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想の修正について、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
前回発表予想(A)	百万円 86,400	百万円 5,400	百万円 6,500	百万円 5,200	円 銭 104.35
実績値(B)	88,217	6,267	9,549	7,903	158.62
増減額(B-A)	1,817	867	3,049	2,703	
増減率(%)	2.1%	16.1%	46.9%	52.0%	
(ご参考)前期第2四半期 実績(2021年12月期第2 四半期)	97,584	10,857	12,238	10,614	213.00

(注)前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定および、クラウド・コンピューティング契約におけるコンプライアンスまたはカスタマイゼーションのコストについて会計方針の変更を行っており、前期第2四半期実績の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容および会計方針の変更による遡及修正を反映させています。

差異が生じた理由

売上高は、半導体などの供給制約の影響で一部の製品需要が弱含んだものの、産業資材事業やメディカルテクノロジー事業の堅調な製品需要や販売価格の改定などにより、概ね前回想定通りの結果となりました。

営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、当第2四半期連結累計期間に計上した為替差益4,041百万円(うち、営業取引から発生した為替差益930百万円、営業取引以外から発生した為替差益3,111百万円)などにより、前回予想を上回りました。

2. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 178,400	百万円 12,500	百万円 13,300	百万円 10,000	円 銭 200.68
今回修正予想(B)	190,000	14,500	17,500	13,500	270.82
増減額(B-A)	11,600	2,000	4,200	3,500	
増減率(%)	6.5%	16.0%	31.6%	35.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	189,285	17,363	19,499	15,859	318.35

修正の理由

通期の業績予想につきまして、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえたうえで、最新の製品需要、販売価格の見直し、為替の動向などを考慮しました。売上高は、産業資材事業の加飾製品や蒸着紙、メディカルテクノロジー事業の医療機器 CDMO などの製品需要が前回の想定を上回って推移する見通しです。

営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、売上高の増加の影響などにより、前回予想を上回る見通しです。

なお、為替レートは1ドル=125円(前回予想113円)を前提としています。

以上